



# OK たよひ

大西勝彦

活動報告

No.90

2022年10月  
大府豊幸会  
(事務局) 刈谷市宝町8-1  
豊田自動織機組合会館est内



大府市議会議員  
大西勝彦

## 令和3年度決算 認定！ オンライン見学授業の推進！

みなさん、こんにちは。大府市議会議員の大西勝彦です。9月議会が終わりました。この議会は、令和3年度の決算を審議する議会でした。また、今回も一般質問に立ち、教育懇談会の改善とオンライン見学授業の推進を訴えました。その概要を報告します。



大西勝彦HP →



### 令和3年度決算

### コロナ禍でも、健全財政を保っている・・・

令和3年度決算は、歳入が485億1,046万円、歳出が456億9,218万円、実質収支は20億4,017万円の黒字でした。

#### 【各種決算指標】

財政力指数(3年平均)	1.09(1.15)	「1」を超えると(国からの)普通交付税不交付団体となる。国に依存していない。
経常収支比率	82.8%	80%を超えると財政構造は弾力性を失いつつある。
公債費比率	1.1%	借金返済額の負担率。通常10%を超えないことが望ましい。
実質収支比率	9.5%	余剰金が財政規模から見て適正であるかどうか。概ね3~5%程度が望ましい。

令和3年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対応のための事業など臨時的な歳出増がありましたが、国からの臨時交付金やこれまでの財政運営によって蓄えられた各種基金などを活用して、概ね健全な財政が保たれています。しかし、今後も長期的には少子高齢化の進展に伴い、社会保障費等の義務的経費の増加が予想され、引き続き注視していく必要があります。

### 9月議会のトピックス

### 循環バス、ヤングケアラー、紙おむつ、プラごみ

#### ☆ 循環バスの増便を検討

##### 【令和3年度決算認定・建設産業委員会での質疑】

##### (大西)

循環バスの増便を検討したか。

##### (福島 都市政策課長)

循環バス利用者の乗降調査結果や、地域公共交通を担う他の交通機関からの情報に基づき、実績を検証するとともに、市民アンケート結果や利用者実績からのニーズを考慮して、増便等を含めた路線網を検討した。令和4年度の事業ではあるが、今後は令和5年10月をめぐりにダイヤ改正と増便を進めていく予定である。



#### ☆ ヤングケアラー対策

今年度、愛知県からの事業委託を受け、ヤングケアラー支援モデル事業を実施します。市独自事業として、児童・生徒(小5・中2)と教職員(小・中・高)にアンケートを実施します。



#### ☆ 公立保育園・使用済み紙おむつの処理

児童の保護者の負担軽減や衛生面を考慮し、令和5年4月から全ての公立保育園において、使用済み紙おむつの処理を実施します。

#### ☆ プラスチックの一括回収

令和5年4月から、これまで回収してきた容器包装プラスチックに加えて、現在家庭ごみとして焼却されているハンガーや歯ブラシなどの「製品プラスチック」との一括回収(週1回)を開始します。資源回収ステーションではなく、燃やせるごみや燃やせないごみと同様に身近なごみステーションに出すことが可能となります。



## 教育懇談会を抜本的に見直すべき・・・

(大西)

私が副議長をさせていただいた9年前、初めて**教育懇談会という会合**に出席した。教育懇談会というので、いじめや不登校の問題、ICT教育の問題、学力向上・体力向上の問題等が話し合われるのかと思っていが、**さにあらず**、PTAと校長会から、大府市、愛知県、警察への要望会だった。しかも要望される側に教育委員会がいた。大きな違和感をいただいたので、すぐに教育委員会に改善を提案したが、現在まではほぼ同じ形態で続いている。教育懇談会のあり方を抜本的に見直し、教育問題を話し合う会議体に変えていく考えはあるか。

(宮島 教育長)

本市では、毎年、小中学校PTA連絡協議会及び小中学校校長会の主催により、通学路の安全施設・設備の整備に関する陳情及び教育関係に関する陳情内容について教育懇談会が開催されている。そこでは、市内小中学校のPTA会長や学校長が、市長、議長、教育長・教育委員会委員等を始め、市の幹部職員に対して、通学路の安全対策及び学校の施設・設備の整備・改修等並びに教育活動における環境の整備についての**要望事項**を説明し、意見交換を行っている。教育懇談会は、主催者にとっては、年に1度、市長、議長等に**直接思いを伝える**ことができる貴重な機会となっている。

## 校長が自由に使える予算を増額するべき・・・

(大西)

**教育懇談会で使用する資料、教育懇談会要項**に掲載されている内容で、毎年黒板の修繕、取り替えの要望が出ている。黒板は授業になくはならないものであり、その要望が同じものも含めて**毎年出ている**。岡村市長は、**どう感じたのだろうか**。そこでお尋ねする。毎年の予算で**各学校長が自由に使えるお金**はいくらあるのか。



教育懇談会資料「教育懇談会要項」

(浅田 教育部長)

毎年、教育委員会予算を各学校に配分して、学校は配分された予算の範囲内において学校長の判断により必要な修繕を行ったり、図書備品や消耗品の購入を行っている。執行するための**用途は科目ごとに決められている**ので、自由に使えるというわけではないが、これらのために配分した額は、本年度ではおよそ**1億1千万円**である。

(大西)

例えば国や県からの使い道が決まった**紐付き補助金**ではなく、各校長がその年度に入り使い道が決められる**一括交付金**のような仕組みは考えられないのか。

(浅田 教育部長)

各学校の施設のレベル、整備レベルが違うので、ある学校が突出したようなことをされてしまうと、あそこの学校とこの**学校との差**が出ることもある。そのため、費目を決めた形での予算の配分をしている。

## 教育予算全体が足りない・・・？

(大西)

一括交付金ができない**真の原因**というのは、学校教育に対する**予算全体の額が少ない**ということなのか。

(浅田 教育部長)

近年、多くの予算をもらっている。教育委員会、学校は大きな施設をたくさん持っている状況なので、修繕するところはたくさんある。少ないというよりも、**順次整備**を進めていっている。

## オンライン見学授業の積極的な推進を・・・

(大西)

先日、市内小学校の3年生の担任の先生から、**豊田自動織機長草工場**に社会科の授業の一環で、**オンライン見学の依頼**があった。10月の教育委員会への公開授業として実施することが決まった。今後もこういった**企業のオンライン見学授業を積極的に展開していく**考えはあるか。



(浅田 教育部長)

職場体験活動や企業人からお話を伺う授業など、企業と連携した活動は、児童生徒にとって大変貴重な経験となり、知識として学ぶだけではなく、勤労の意義や働く人々の様々な思いに触れ、よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して、自らの課題を見いだしていくことの大切さを理解することにつながる。現在、学校では、**オンラインによる授業を行う環境が整っている**ことから、企業と連携したオンラインによる授業を実施することができるので、企業との調整にはなるが、**学校での展開も積極的に進めることができると**考えている。

## 要望事項の在庫一掃セールを・・・！

(大西)

最後に意見を述べる。教育懇談会について、壇上でも述べたが、学校の実情を議員がしっかり認識するという意味では、教育懇談会要項という資料は意味がある。しかし、その要望を市長に直接伝えたいのなら、総合教育会議や日常の幹部会があるのではないかと考えている。要望内容についても、毎年同じようことが改善されていない。教育懇談会要項を見て、**市長や教育長はどう思われているのか**。さらに本質的な問題は、PTAと校長会が要望書を出していることだ。校長先生にもう少し、**自由に使えるお金**、裁量できるお金があれば、上がってこない要望もあるはずだ。その予算額と仕組みをもう一度考えてほしい。例えるなら、地方分権と同じだ。**紐付き補助金ではなく、一括交付金的なもの**を児童生徒に一番近い学校、学校長に渡してほしい。さらに、一度、基金を有効に使う、課題を整理してみることを提案しておく。つまり、基金を使って要望の**在庫一掃セール**をやしてほしい。